

災害支援ネットワークのご案内

企業の備えが
全国へ繋がる
支援の輪



～これからの30年を考える～

一般社団法人 非常食備蓄支援機構

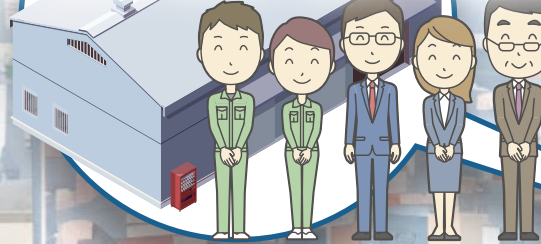
運営・協賛団体  子供たちの明日の未来を守る為に
株式会社THLホールディングス

私たちは企業備蓄を全国に広め、災害支援ネットワークを構築します。

社員を守る備蓄

従業員が安心して働ける企業備蓄は
事業継続の原動力となります。

1人 3日分(9食)×50人=450食



地域貢献備蓄のご協力
をお願いいたします。

備蓄食をご購入いただいた企業様に
「びちくまんステッカー」をご用意しております。企業備蓄が地域の
防災力向上と地域貢献につながるPRにご利用ください。



地域を助ける備蓄

近隣地域災害時に従業員の家族や
地域住民を助ける地域貢献備蓄。

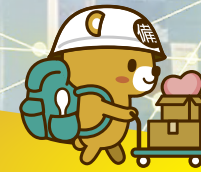
各地域平均150社=67,500食



全国につながる備蓄 未来への備え

地域の備蓄量が増えてゆけば全国で起きる
万が一の大規模災害時に助け合えます。

全国1,741市町村=約1億1,700万食



民間企業が地域社会を支援する

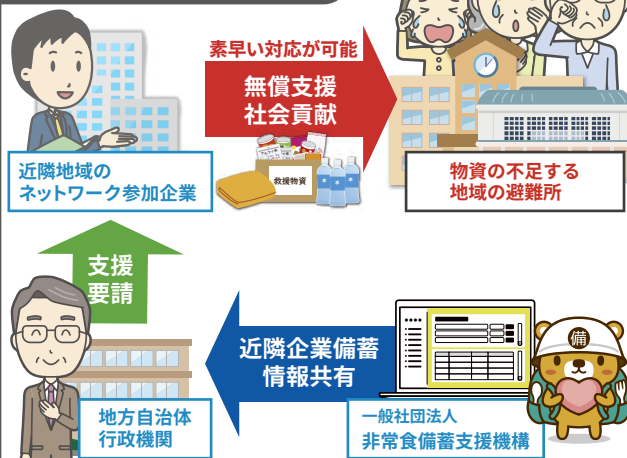
災害支援ネットワーク 無償支援

支援の流れ

災害発生時、ネットワーク参加企業がいち早く地域を支援。大規模災害時は支援を全国に広げていきます。

近隣地域災害時

地域の備蓄品を共有し迅速な支援



- ① 平常時、行政機関に企業備蓄情報を共有。
- ② 災害時、行政機関から被災地近隣の備蓄企業に支援要請。
- ③ 備蓄企業から被災地域の避難所に直接支援。

大規模災害時

全国の備蓄品を共有する大規模な支援



- ① 災害時、行政から要請を受け全国の備蓄企業に支援要請。
- ② 備蓄企業から避難所または行政機関に支援。

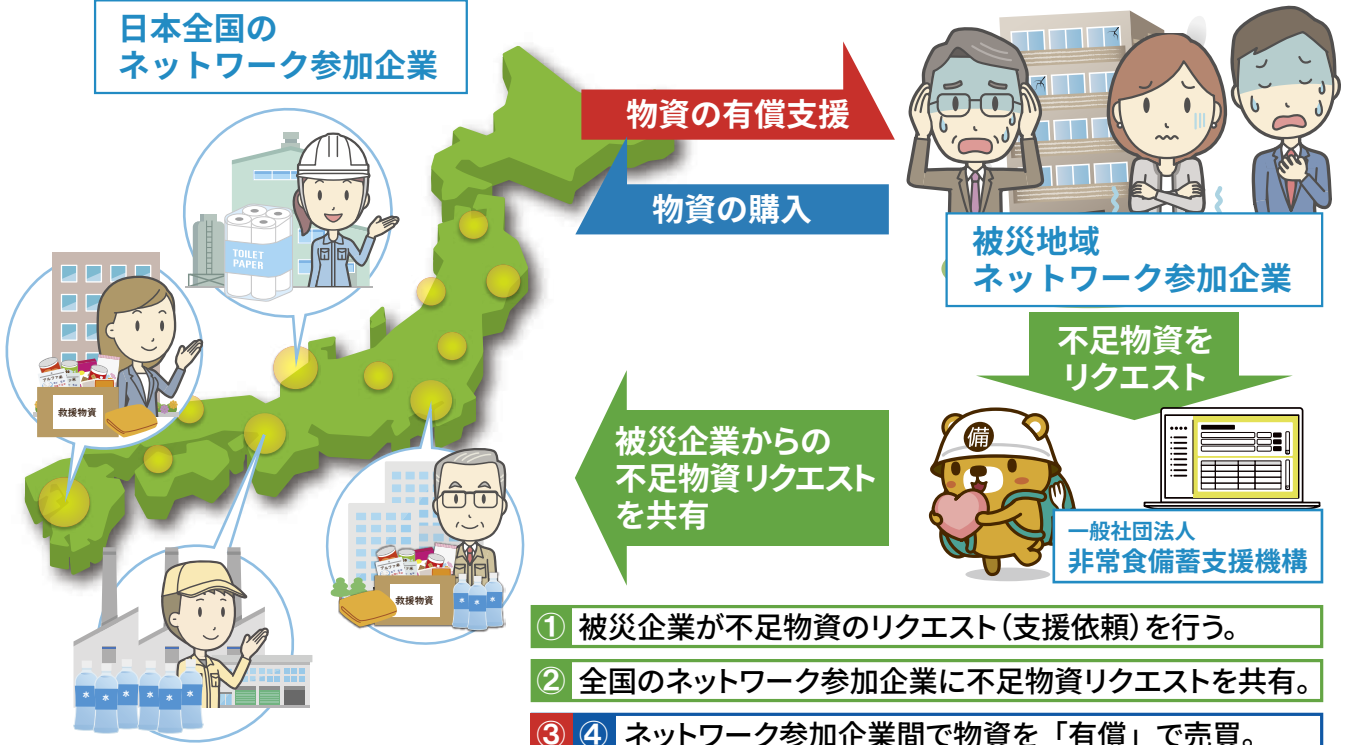
※支援は強制ではありません。都度、ネットワーク参加企業様にて支援実施をご判断いただけます。

全国の民間企業が共に助け合う

災害備蓄品シェア・ネットワーク 有償支援

支援の流れ

災害発生時に全国のネットワーク参加企業間において、不足する物資を「有償」で売買ができます。



- ① 被災企業が不足物資のリクエスト(支援依頼)を行う。
- ② 全国のネットワーク参加企業に不足物資リクエストを共有。
- ③ ④ ネットワーク参加企業間で物資を「有償」で売買。

※非常食備蓄支援機構がネットワーク参加企業の備蓄情報を管理・共有し、緊急時の購入をサポートします。

私たちは企業備蓄の 管理負担を軽減します。



1 高温環境でも安心して保管できる80℃対応非常食



一般的な非常食は、常温(15~35℃程)保管が原則です。高温環境で保管された場合は品質が劣化し安全に食べられなくなります。近年は地球温暖化の影響で保管環境の高温化が進み、品質劣化のリスクが高まっています。私たちは高温環境でも安心して保管できる耐温度80℃の非常食・保存水も取り扱っております。

2 期限管理をサポート

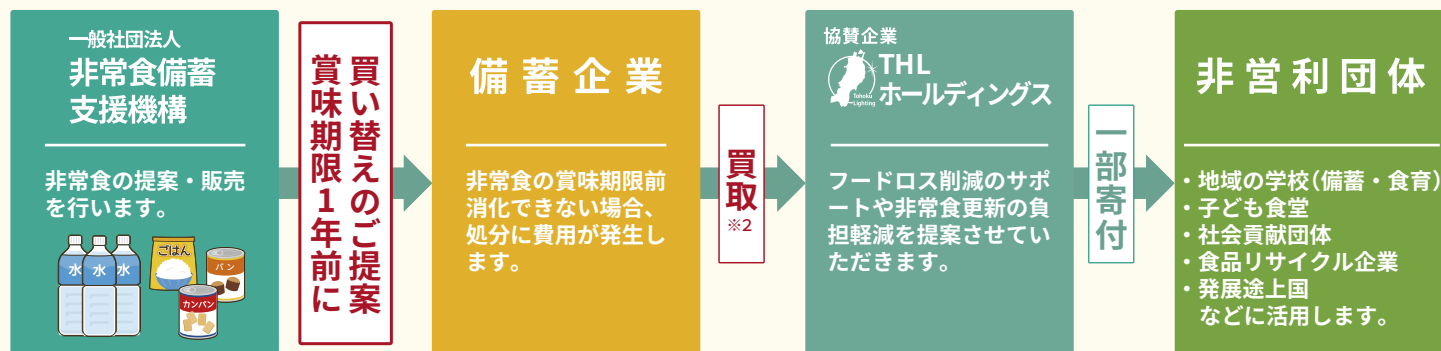
緊急時に期限切れで食べられないことがないように賞味期限の1年前にご連絡させていただきます。

3 更新時の負担軽減

期限切れ前に非常食を更新していただけた場合10%相当の買替サポートをいたします。

4 非常食の処分費を軽減 フードロス削減 SDGs目標^{※1}への貢献

期限切れの非常食は処分費が必要となる場合があります。非常食更新時に買取り、地域の避難施設(学校)などに短期備蓄用として寄付を行い、備蓄企業の負担軽減とフードロス削減に貢献します。



※1. SDGs: 目標2「飢餓をゼロに」、目標12「つくる責任、つかう責任」

※2. 買取りの際には期限が1年以上必要な場合があります。

会社概要

会社名	一般社団法人 非常食備蓄支援機構
代表理事	芝山 憲司(石川県 七尾市 出身)
所在地	本社 〒921-8151 石川県金沢市窪7丁目299 東日本事業本部 〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田107
お問い合わせ	TEL: 076-240-7101 FAX: 076-203-0396

災害支援活動の取り組み

協力企業様お力添えのもと、災害被害があった地域の支援などを行っております。これからも私たちは企業様ご協力のもと災害に備え・支援する活動を全国へ拡げてまいります。

自社の支援物資運搬車両



WEBサイト

備蓄3DAYS
3日分の備蓄を

<https://bichiku3days.jp/>

非常食備蓄支援機構

検索

